

大変興味深くユーモアのあるお話でした。
先生の講演、大変身に染みいりました。
先生の講演、とても面白く展開されていて聞きやすかったです。
面白いと言っていいのか分かりませんが、面白かったです。分かり易かったのも良かったです。
先生の講演はアニメのセリフを使ったりしていて、とても分かり易かったです。とても面白い講演でした。ありがとうございました！
今までの知識を覚えるような学びではなく、どうしたらもっと良くなるのか、自分で考えられるような職業人になりたいと思いました。
講演会と聞いて初めは固いイメージがあったが、始まってみると先生の話に引き込まれていくような感覚で、とても面白かったです。
先生のように何十年と医師を続けて来られた方でありながらも、常に様々なことに対し学びを持たれている姿勢に非常に感動しました。
テーマや引用した言葉など、とても興味を引く展開で飽きなかったです。今回の講演で学んだことを、これから臨床で活かして行きたいと思います。
具体的な話が聞けて楽しかった。2時間ほどの話を聞いていられるのか不安だったが、とても興味深くなっていて、とても楽しく聞くことが出来ました。
今までの私の考え方を改めさせられるような考え方を沢山聞くことができ、とても良い経験となりました。また機会があったらお話聞かせて頂きたいです。
皮膚疾患の話を変えて、面白い内容を話してくれたり、人生哲学の講義や、まさかマンガの名言を使って講義をされる様な先生は初めてだったので、驚きました。
言葉の意味の説明一つ一つが丁寧で分かり易かったです。生き方のことも関心の高まるものばかりで、皮膚科の事についても良かったです。ありがとうございました。
人間学の話や皮膚科の臨床の話も聞けて、とてもタメになる講演で、最後まで面白く聞くことができました。先生のお話を聞いて、今後臨床で活躍できるよう自覚を持って頑張りたいです。
例え話や体験談を取り入れて、分かり易く講演して下さい、とても面白く興味の湧くお話でした。また、先生の行動や活動にとても感動しました。私も将来、負けなくらい立派な看護師になりたいです。
先生が一人で考え、今の道を切り拓いて来たのだと知り、ただただ圧倒されました。これから現場に出て、大変なこともあると思いますが、マニュアルや言われたからやるのではなく、自分の頭で考えられるような看護師になりたいと思います。
とても面白いお話を聞かせて頂きありがとうございました。先生の関西弁交じりのユーモアある話し方で、聞いていて楽しかったです。心に残るコメントを聞くことができ、今の私たちの背中をひと押ししてくれるようなコメントばかりだったので、とても元気づけられました。
今日の講演を聴いて、何かの知識を持っていても、それを活かして何かをする力が大切であると学びました。また、患者さんがいかに満足できるのか、それに対して看護師が得た知識だけでなく、イレギュラーなことにも、その場その場で対応することも必要だと感じました。
素敵な講演ありがとうございました。古典の引用だけでなく、アニメの引用を用いることや事例をテンポ良く提示していくことで常に興味を惹かれ、講演を楽しむことが出来ました。授業が全て終了した今、知識と技術を行動に移せるようこれからの実習で頑張りたいです。
とても勉強になる講演でした。皮膚科医が1人しかいない中、懸命にがんばっている姿に感銘を受けました。患者さんに対しても、人間味があり、優しく、温かい姿勢に見習うべき点が沢山あると思いました。また機会があったら講演を聴きたいと思います。ありがとうございました。
先生の言葉は、マンガのセリフの親しみやすいものから文学的なものまで様々でしたが、どれも分かり易く、また自分に置き換えてみてどうだろう、と考える事が出来ました。心に留めて置きたいキーワードをメモしました。4月からこのメモを読み返しながら頑張りたいと思います。
今までは“無理なくて良い”と聞くことが多かった中で、先生の仕事はちょっと無理しなければいけないというお言葉は、新しく、かつ、心にストンと落ちる説得力がありました。飾った美しい言葉でなく、これから働くにあたって現実的な心構えがしやすい講義でした。ありがとうございました。

お一人で病院の皮膚科医も務め、このような講演活動もされていて、なんて多忙な日々なのだろうと驚きました。講演は事例をあげて説明して下さったので分かり易かったです。また馴染みのあるマンガや人物も出てきたり、話も面白くとても楽しく学ぶ事ができました。ありがとうございました。

すごく臨床の場の本当の声が聞けて、とてもいい経験になりました。特に患者さんの治療過程や、私たちが知っているアニメのキャラクターのセリフなどを講演で取り入れていて、興味関心が持てるものでした。また、講演の話し方も聞きやすく、時間があつたらもっと聞いていたかったです。良い講演ありがとうございました。

講演をお聞きし、卒業後、社会人として医療人として肝に銘じ、仕事に取り組んで行きたいと思いました。自分の信念に基づきやり遂げることで、初めて物を申すことを相手も受容し認めてもらえるのだと思いました。本講演では哲学的な部分だけではなく、実際の疾患についてのお話も聞け、大変貴重な機会となりました。ご講演頂きありがとうございました。

非常に前向きで建設的な気持ちになれました。目の前に重症な患者さんがいれば、それに目がとらわれがちになるのが普通だと思いますが、先生は予防の為に何をするのかを考え、出来る事を全力で行っており、自分の考え方や思考が変わるきっかけになると思います。ここから先は自分の努力で、先生の講演して下さった内容を実践して行けるように頑張ります。

岸本先生の本を読んで、講演を聞いて、いろんなことを考える良い機会となりました。私たちは看護学生で日頃から勉強で膨大な知識、そして技術を学んでいます。それを覚えたり身に付けたりすることで精一杯ですが、使い方も一緒に考えて行く必要があると思いました。とても多くの事例があり、大変勉強になりました。先生の熱意が伝わりました。ありがとうございました。

本日は、素晴らしい講演をありがとうございました。どんなに勉強したとしても知識や技術だけでは患者さんに寄り添う看護を実践することは難しいという事を学びました。知識や技術を身に付けた上で人間性を身に付け、患者さんの思いに寄り添った看護を実践できるよう努力していこうと思います。また、自分の行動・発言に責任を持ち、日々患者さんと関わっていきたいと思います。

このような講演は初めてでした。私たちの分からない病態について、例や笑いを交えて伝えて下さったので、楽しんで勉強させて頂きました。患者さんに対して自分がナースになった時、生活上どう接していくかを考える良い機会となりました。私も将来、常に上を目指して(周りにあの人になりたいと言われるくらい信頼されるよう)努力して行きたいと思います。本当にありがとうございました。

今回の講義では、実習において役立つと感じたことがとても多かった。準備なしで飛び込んだら失敗して当たり前であることは実習に臨むにあたって励みになる言葉だと思った。看護をするにあたって一番大切なことは観察だと改めて思った。観察をするにあたっては知識が必要となってくるし、柔軟な考え方が求められる。ただ飛び込むのではなく、やり抜く。この精神を大切に実習に臨んで行きたい。

事例をたくさん用いて講演して下さい、とても理解しやすく内容がストンツと入って来ました。「ほんまもん」を事前に読んでいた為、学びが深まったと思います。また、偉人の言葉や四字熟語など少し堅い言葉だけでなく、アニメやマンガなど、私たち若者にも馴染みやすいものから引用されていた為、楽しみながら聞くことができました。医療関係者でない人にも響く言葉が多くあり、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。

先生の熱い信念が伝わってきました。実習や日々の生活の中で、逃げ出したいと思うことが多々ありました。しかし、誰かのために役に立ちたい、自分のことを必要としてくれる人がいると感じた時、それが原動力になっていた思い出しました。これから、今以上に大変なことがあると思いますが、今回のお話を忘れず日々努力していきたいです。乗り越えてこそ、見えることも沢山あると思うので、強い心を持って日々精進したいと感じました。お忙しい中、心に響くお話を頂き、本当にありがとうございました。

とても興味を持てる楽しいお話でした。先生がただ話すだけでは印象に残りづらいのですが、スライドも一緒にあつたおかげで言葉もしっかり入って来ました。看護を学ぶ中で、勉強をしっかり手を抜かずやろう、いい看護師になりたい、と思うようになりました。先生のように努力を重ねる事は、並大抵のことではなく難しいことだと思いますが、私も努力して自分の目標に、今できることに全力で取り込んで行きたいです。本当に今回お話聞けて良かったです。ありがとうございました。先生の活動がもっと広がっていくことを願っています。

岸本先生、まず「ほんまもん」をありがとうございました。心で動くことを大切にされている先生の姿を拝見して、とても勇気づけられました。とても風当たりが強く、心が折れそうになることももちろんあると思います。私も少ない経験の中で、型にはまるか、信じているものを貫くか、悩んで信念を選んだことがありました。しかし、岸本先生のお話を拝聴して、自分の目で見たいものを信じて、一事を為せるように、もしくは携われるように生きたいと考えました。お体に気を付けられてください。また、どこかでお会いできるのを楽しみにしています。

今回の講演を聞いて印象に残った事がたくさんあります。生きていれば自然と経験年数は増えますが、努力しないと自分の力にはならない。ただ時間だけが過ぎ去ってしまうと思いました。知識と技術を身に付ける事は大切ですが、その身に付けた知識や技術をどう使うかが身に付ける事よりも大切であり、難しい事であると思いました。その知識や技術を患者さんのために使うには、人格や人間性をしっかり築くことが大切だ、と先生のご講演を聞き感じました。これから知識と技術を身に付け、看護師としての品格を備えられるように頑張ります。

岸本先生の講演を聞き私が考えたことは、痛みだけに限らず、その患者さんにしか理解できない苦しみや怒り、またそれらを通り越す程の虚無感が存在するのだということです。医療に携わる者は、患者さんのこのような思いを理解し続けようとする姿勢を忘れてはいけません。そのためには自分を信じて小さな努力を積み重ね、驕らず謙虚な気持ちで進んで行きたいです。そして時には無理をすることも必要なのだと思います。「当たり前のこと出来る幸せ」を全力でサポートできる看護師になりたいです。そのために、今の学びをアウトプットできるよう学生生活を過ごして行きたいです。「ほんまもん」、これからも何度も手に取り、読み返したいと思います。ありがとうございました。

最初はおもった堅苦しい講演になるのではないかと感じていました。でも、お話が始まってみるとそんな事はなく、楽しく色々なことに気づき、学びながら聞くことができました。社会や現場に出てから大切にすべき事だけでなく、学生である今のうちから大切にすべきことがたくさんあると気付けた講演会でした。みんなと同じようにできることも大切ですが、それだけではなく、何か自分にしかできないことを見つけたいと思いました。先生のように情熱を持って日々患者さんと向き合っている方もいると知れたのは大きいです。少しずつ現状を変えられるよう、私も無理して頑張りたいです。まずは知識を蓄えます。お体が壊れない程度に活動なさってください。本日は貴重なお話をありがとうございました。

先生のお話は、マンガからの引用や具体例を交えており、興味を持って聞くことが出来ました。先生のような医師はカッコイイと思いますが、なりたいと願うだけではなれないと思いました。なるためには人一倍の努力をして、誰もが認める存在でなければいけないと分かりました。私はそうなりたいですが、今の状態が努力不足であることは実感しています。患者さんの役に立ちたいと思っていますが、努力がなければそれは叶わないと思いました。先生の話聞いて今の自分を振り返り、今の自分がしなければいけない努力は何かを改めて振り返ることが出来ました。皮膚疾患を抱える患者さんの反応を見て、先生と患者さんの信頼関係を感じる事ができ、私もそのような関係性を築いてみたいと思いました。本日はありがとうございました。

お忙しい中、ご教授ありがとうございました。岸本先生のお話を聞いて、“どうして誰かのために、地域のために、こんなに自分を追い込めるのだろう”と素直に感じました。私は1月から実習が始まり今までの人生で一番辛いと言える経験をしました。2、3時間しか寝れなくて、辛いと嘆いて、誰かに「頑張ってるね。無理しなくてもいいよ」という言葉を求めていましたが、先生のお話を聞いて、“無理しなくてもいいよ＝期待していない”ということだとわかり、恥ずかしいと思いました。無理しなければ、つまり、自分の身を削ることが出来ないならば、誰かの為になれないのだと分かりました。私は病める人をお手伝いしたくてナースを目指したのに自分に甘えていたら誰かの役にも立てないじゃないかと今、思うことが出来たので、あと1年、学生として謙虚に励もうと再び決意を固めることが出来ました。ありがとうございました。

先生の熱意、向上心、探究心、常に患者さんと向き合い諦めず治療して行く姿勢に感銘を受けました。現在、実習が始まっているのですが、改めて患者さんと向き合うことの大切さを考えました。同じ疾患の患者さんであっても1人1人、症状や悩みや不安も異なり、決して同じ人はいません。その1人1人と向き合い、常に考えながら看護をして行く。本当にこの患者さんにとってベストかどうか悩むこともあります。悩んだり、考える事が大切なんだと思いました。まだまだ実習中の身ですが、常に向上心を持ち続け、患者さんから学ばせて頂きながら看護師を目指して行きたいです。皮膚科の臨床についても興味深く聞かせて頂きました。適切な治療も勿論大切ですが、患者さんに自己管理や自己コントロールしてもらおうということが重要であり、理解してもらうことが必要です。指導の部分は看護師の仕事でもあるので、伝える力を磨き、動機付けができる力を身に付けて行きたいです。本日は貴重なお話をありがとうございました。

患者さんを常に考え、何かもっと良い方法はないか、出来る事はないかと粘り強く最後までやり通す姿に感動しました。初めて何かを行う時は、恐くて逃げたくなるかもしれないが、強い覚悟を持って挑戦し、それをやり続けられることの大切さを学ぶことができました。実習をしている時に、いつもやっているからやる、ということがあったため、患者さんにとって、どの援助や治療がいいのかを考え、いつもと変えた方が良い時には失敗するかも、と自分本位の気持ちになるのではなく、患者さんの辛く苦しい気持ちを思い、少しでも苦痛を軽減させ笑顔になれるようにと強い気持ちと責任を持ち、違った方法を自ら進んで実践できるようになりたいと思いました。また、それを1回で終わらせるのではなく、何度も何度も考え、より患者さんのためになれるよう継続して行けるようにしたいと思いました。先生のように少しでも患者さんのその痛みを軽減できるか考えることが、患者さんの命だけではなく心も救えるのだと感じる事が出来ました。お忙しい中、講演に来て下さりありがとうございました。一生忘れません。